【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成27年9月3日(2015.9.3)

【公表番号】特表2015-500136(P2015-500136A)
【公表日】平成27年1月5日(2015.1.5)
【年通号数】公開・登録公報2015-001
【出願番号】特願2014-543931(P2014-543931)
【国際特許分類】
Ｂ０５Ｃ　5/00　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　1/30　(2006.01)
Ｂ０５Ｄ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０５Ｃ　5/00　１０２
Ｂ０５Ｄ　1/30
Ｂ０５Ｄ　7/00　Ｋ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成27年7月15日(2015.7.15)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
添加物の水溶液（２）を所定量の微粒子材料中へ注入するための装置（１）であって、該装置は、微粒子材料を輸送するためのコンベア（４）と、前記コンベアの上側に配置される１またはそれ以上の分配器（５）とを備え、前記分配器は、添加物の水溶液のための供給源に接続され、前記分配器は、前記コンベア（４）の幅の少なくとも一部にわたって延びる少なくとも１つの注出口（１０）を備えることを特徴とする、装置（１）。
【請求項２】
前記注出口（１０）は、均一に分布された注ぎ口（６）の列を備える、請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記注ぎ口（６）の少なくとも一部がガターの形状を成す、請求項２に記載の装置。
【請求項４】
前記ガター（６）がＶ形状断面を有する、請求項３に記載の装置。
【請求項５】
前記ガター（６）は、装置の前壁（８）から下方へ傾く、請求項３または４に記載の装置。
【請求項６】
前記ガター（６）が前記分配器（５）の前壁（８）から突出し、前記前壁が前記コンベア（４）へ向けて傾く、請求項３、４または５に記載の装置。
【請求項７】
前記分配器（５）が熱可塑性材料から成る、請求項１から６のいずれか一項に記載の装置。
【請求項８】
前記コンベアがベルトコンベア（４）である、請求項１から５および７のいずれか一項に記載の装置。

【請求項９】
前記１またはそれ以上の分配器がＣａｒｄａｎサスペンションによって支持される、請求項１から８のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１０】
水溶液の前記供給源が前記分配器（５）の内側空間（１４）内へ通じ、前記内側空間が堰（１５）を備え、この堰（１５）は、前記内側空間の幅にわたって延びるとともに、前記内側空間の底部（１７）から距離を隔てる下縁（１６）を有する、請求項１から９のいずれか一項に記載の装置。
【請求項１１】
添加物の水溶液（２）を微粒子材料（３）中へ注入するための方法であって、前記溶液は、微粒子材料を輸送するコンベア（４）の幅の少なくとも一部にわたって制御される流速を伴って重力の影響下で注がれる、方法。
【請求項１２】
前記溶液が前記微粒子材料上にわたって滴下される、請求項１１に記載の方法。
【請求項１３】
前記溶液は、前記コンベア（４）へ向けて傾けられる出口（１１）の列を有する分配器（５）から注がれる、請求項１１または請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
前記微粒子材料は、塩、好ましくは塩化ナトリウムまたは塩化カリウムであり、前記添加物が非粘結剤であり、前記塩の輸送速度および前記溶液の流速は、塩の１トン当たり０．０５～５リットルの混合比を得るように調整される、請求項１１、請求項１２、または請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
前記非粘結剤は、フェロシアン化鉄およびメソ酒石酸鉄を備えるグループから選択される少なくとも１つの化合物を備える、請求項１４に記載の方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００８】
添加物の水溶液は、微粒子材料上に噴射されるのではなく、重力の影響下でのみ微粒子材料上に注がれる。特に、酸性添加物溶液を用いると、注ぐことによって、使用器具および周囲環境の腐食が噴射を用いるよりもかなり少なくなることが分かった。なお、明確にするため、“注ぐ”という用語は、噴射によらず、重力のみの使用によって溶液が注出口から出ることを示すために使用され、前記注出口は、均一に分布された注ぎ口の列を備えることが好ましい。前記用語は、液体の途切れない流れが常に存在することを示すように意図されない。特に、溶液は、滴下によって（すなわち、断続的な流れで）或いは連続的な流れを伴って出ることができる。

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１２】
注出口は、例えば、流出を最小にするために好ましくは分配器の前側から突出する均一に分布された注ぎ口の列を備えることができる。“均一に分布された注ぎ口”とは、注出口が注ぎ口の列を備え、互いに隣接する注ぎ口間の距離に５０％を超えないずれ、好ましくは２５％を超えないずれ、最も好ましくは１０％を超えないずれがあるように前記注ぎ

口が互いに向かい合って位置されることを意味する。５０％を超えるずれ、好ましくは２５％を超えないずれ、および、最も好ましくは１０％を超えないずれとは、互いに最も近い注出口の２つの注ぎ口間の距離が１ｃｍである場合に、互いに隣接する他の注ぎ口間の距離のどこも１．５ｃｍを超えない、好ましくは１．２５ｃｍを超えない、最も好ましくは１．１ｃｍを超えないことを意味する。適した注ぎ口の例は、ガター、例えばＶ形状の断面を有するガターである。Ｖ形状の断面を有するガターが特に好ましい。ガターは、例えば、コンベアの輸送方向に対応する方向で、例えばコンベアの方向で下向きの傾きを伴って、分配器から突出してもよい。

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１３】
水溶液の供給源が分配器の内側空間に通じることが好ましい。内側空間から注ぎ口への溶液の流れを均一にするために、内側空間は、該内側空間の幅にわたって延び且つ内側空間の底部から距離を隔てる下縁を有する堰を備えることが好ましい。この実施形態は、添加物溶液が注ぎ口にわたって均一に分配されるという利点を有する。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２６】
図１は、添加物、好ましくは非粘結剤の水溶液２を、所定量の微粒子材料中へ、例えば塩３（好ましくは塩化カリウム、より好ましくは塩化ナトリウムである）中へ注入するための注入装置１を示す。注入装置１は、微粒子材料、例えば塩３を輸送するためのベルトコンベア４と、ベルトコンベア４の上側に配置される分配器５とを備える。分配器５は、添加物、好ましくは非粘結剤の水溶液のための供給源（図示せず）に作用可能に接続される。分配器５はプラスチック材料の容器７を備える（明確にするために、分配器５は全体の分配ユニットを示す。すなわち、分配器は部分６から１５を備える）。容器７は、凹部９を備える上縁を伴う前壁８を有する。凹部９には、Ｖ形状の注ぎ口またはガター６の列により形成される注出口１０が設けられる。ガター６は、水平面と角度を成して前壁８から下方へ突出する。また、分配器５は、分配器５をフレーム（図示せず）に対して吊り下げるための２つのサスペンションバー１３が設けられる後壁１１も備える。前壁８は、図面に矢印Ａにより示されるベルトコンベア４の輸送方向で垂直線と約１０～約７０度の角度を成して傾く。

【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２８】
添加物、好ましくは非粘結剤の水溶液２が供給ラインを介して供給されると、溶液２が分配器５の容器７内へ流れる。溶液２は、ガター６を介して流れて、ベルトコンベア４上の微粒子材料、例えば塩３（好ましくは塩化カリウム、より好ましくは塩化ナトリウムである）上へと重力下で滴下する或いは真っ直ぐに流下する。微粒子材料が塩であり且つ添

加物が非粘結剤である場合には、塩の輸送速度および非粘結剤溶液の流速は、塩の１トン当たり約０．０５～約５リットルの混合比を得るように調整されることが好ましい。 なお、本発明には以下の態様も含まれる。

［項１］添加物の水溶液（２）を所定量の微粒子材料中へ注入するための装置（１）であって、該装置は、微粒子材料を輸送するためのコンベア（４）と、前記コンベアの上側に配置される１またはそれ以上の分配器（５）とを備え、前記分配器は、添加物の水溶液のための供給源に接続され、前記分配器は、前記コンベア（４）の幅の少なくとも一部にわたって延びる少なくとも１つの注出口（１０）を備える、装置（１）。

［項２］前記注出口（１０）は、微粒子材料を輸送するコンベアセクションの幅にわたって延びる［項１］に記載の装置。

［項３］前記注出口（１０）は、均一に分布された注ぎ口（６）の列を備える［項１］または［項２］に記載の装置。

［項４］前記注ぎ口（６）の少なくとも一部がガターの形状を成す［項３］に記載の装置。

［項５］前記ガター（６）がＶ形状断面を有する［項４］に記載の装置。

［項６］前記ガターは、装置の前壁から下方へ傾く［項４］または［項５］に記載の装置。

［項７］前記ガター（６）が前記分配器（５）の前壁（８）から突出し、前記前壁が前記ベルトコンベア（４）へ向けて傾く［項４］、［項５］または［項６］に記載の装置。

［項８］前記分配器（５）が熱可塑性材料から成る［項１］から［項７］のいずれか一項に記載の装置。

［項９］前記コンベアがベルトコンベア（４）である［項１］から［項８］のいずれか一項に記載の装置。

［項１０］前記１またはそれ以上の分配器がＣａｒｄａｎサスペンションによって支持される［項１］から［項９］のいずれか一項に記載の装置。

［項１１］水溶液の前記供給源が前記分配器（５）の内側空間（１４）内へ通じ、前記内側空間が堰（１５）を備え、この堰（１５）は、前記内側空間の幅にわたって延びるとともに、前記内側空間の底部（１７）から距離を隔てる下縁（１６）を有する［項１］から［項１０］のいずれか一項に記載の装置。

［項１２］添加物の水溶液（２）を微粒子材料（３）中へ注入するための方法であって、前記溶液は、微粒子材料を輸送するコンベア（４）の幅の少なくとも一部にわたって制御される流速を伴って重力の影響下で注がれる、方法。

［項１３］前記溶液が前記微粒子材料上にわたって滴下される［項１２］に記載の方法。

［項１４］前記溶液は、前記ベルトコンベア（４）へ向けて傾けられる出口（１１）の列を有する分配器（５）から注がれる［項１２］または［項１３］に記載の方法。

［項１５］前記微粒子材料は、塩、好ましくは塩化ナトリウムまたは塩化カリウムであり、前記添加物が非粘結剤であり、前記塩の輸送速度および前記溶液の流速は、塩の１トン当たり０．０５～５リットルの混合比を得るように調整される［項１２］、［項１３］、または、［項１４］に記載の方法。

［項１６］前記非粘結剤は、フェロシアン化鉄およびメソ酒石酸鉄を備えるグループから選択される少なくとも１つの化合物を備える［項１５］に記載の方法。